

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化会館施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	04	01	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化会館の利用者	意図	安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	文化会館が施設を快適に利用できるよう、施設の維持管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和44年開館以来、外壁塗装や改修、空調機器や舞台吊物等の設備機器の定期点検等を実施しているが、老朽化に伴い臨時的な補修が増加している。平成30年度は、駐車場出入口舗装改修、ホール令温水ポンプ修繕、屋外エントランススタイル修繕、駐車場照明器具改修、その他施設の修繕を行った。また、ロビーチェア（6基）を更新したほかCDプレーヤーを購入した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市民会館施設の稼働率	64.70	64.50	66.10	%	↑↑↑
②	市民会館施設利用件数の増減率	-6.10	-0.30	2.40	%	↑↑↑	当該年度/前年度-1*100
③	市民会館施設利用者数の増減率	-8.90	-0.70	0.70	%	↑↑↑	当該年度/前年度-1*100
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	第2駐車所で車上荒しが発生し、学童クラブ送迎の車両が被害にあったが、駐車場照明器具改修以降は発生はない。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 駐車場出入口舗装改修、ホール令温水ポンプ修繕、屋外エントランススタイル修繕、駐車場照明器具改修、その他施設の修繕を行った。また、ロビーチェア（6基）を更新したほかCDプレーヤーを購入した。			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		28,857,588	29,992,668	32,118,802			
事業費(b)(円)		25,842,888	25,190,228	25,652,842			
うち一般財源		25,842,888	25,190,228	25,652,842			
職員給与と費(c)(円)		3,014,700	4,802,440	6,465,960			
人役・職員(人)		0.22	0.42	0.58			
人役・再任用(人)		0.20	0.40	0.40			
人役・臨職(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	施設の老朽化に対応し、緊急性の高いものから優先し、今後も継続して修繕を行う。	③取組における課題(Check)	施設の老朽化に対応し、緊急性の高いものから優先し、修繕を行っていく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	駐車場出入口舗装改修、ホール令温水ポンプ修繕、屋外エントランススタイル修繕、駐車場照明器具改修、その他施設の修繕を行った。また、老朽化したロビーチェアを更新した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	施設の保全計画に沿って、建物及び設備の改修を進めていく。